



三月四日付のサンデー毎日から四回にわたって連載された「原発震災」、明石昇二郎氏の署名入り記事だが、科学的根拠の薄弱な記事だ。目を通された方も多と思うが、話を進める上でその概略を紹介しておく。浜岡付近に東海大地震が起これば、発電所の冷却系が故障し、専門家が「BWR」と略称する苛酷事門家が「BWR」と略称する苛酷事故に至り、漏れ出した放射能の雲によって東京を含む人口密集地帯が被曝し、甚だしい場合日本人口の一七％に当たる二千万余の人が死亡するというものだ。

原子力関係者ならば、週刊誌によくある無責任な誇大妄想記事と黙殺できようが、一般の人達はそのほかにない。いやしくも日本三大中央紙の二つ「毎日」の名を冠した雑誌だ。そこいらの泡沫誌とは違う。記事は重みをもつて読まれてい

PAは楽しく、庶民の目で

三月四日付のサンデー毎日から四回にわたって連載された「原発震災」、明石昇二郎氏の署名入り記事だが、科学的根拠の薄弱な記事だ。目を通された方も多と思うが、話を進める上でその概略を紹介しておく。浜岡付近に東海大地震が起これば、発電所の冷却系が故障し、専門家が「BWR」と略称する苛酷事故に至り、漏れ出した放射能の雲によって東京を含む人口密集地帯が被曝し、甚だしい場合日本人口の一七％に当たる二千万余の人が死亡するというものだ。



石川 迪夫
おちかわ みちお
—原子力発電技術機構特別顧問。56年東大機械工学を卒業し、日本原子力研究所東海研究所副所長などを経て91年、北大工学部教授。原子力発電と安全工学が専門。兵庫県出身、67歳。

は、常々電力がこぼしている事柄ではないか。サンデー毎日がその悩みに応えてくれるのだ。千載一遇の好機ではないか。幸いなことに先方からわれすき、思考が硬直化しているからだ。庶民の目で物を見ないからだ。この点を僕はアドバイスしたのだが、伝わらなかつたのか、会社大切なのか、音沙汰はない。

原子力関係者ならば、週刊誌によくある無責任な誇大妄想記事と黙殺できようが、一般の人達はそのほかにない。いやしくも日本三大中央紙の二つ「毎日」の名を冠した雑誌だ。そこいらの泡沫誌とは違う。記事は重みをもつて読まれてい

三月四日付のサンデー毎日から四回にわたって連載された「原発震災」、明石昇二郎氏の署名入り記事だが、科学的根拠の薄弱な記事だ。目を通された方も多と思うが、話を進める上でその概略を紹介しておく。浜岡付近に東海大地震が起これば、発電所の冷却系が故障し、専門家が「BWR」と略称する苛酷事故に至り、漏れ出した放射能の雲によって東京を含む人口密集地帯が被曝し、甚だしい場合日本人口の一七％に当たる二千万余の人が死亡するというものだ。

三月四日付のサンデー毎日から四回にわたって連載された「原発震災」、明石昇二郎氏の署名入り記事だが、科学的根拠の薄弱な記事だ。目を通された方も多と思うが、話を進める上でその概略を紹介しておく。浜岡付近に東海大地震が起これば、発電所の冷却系が故障し、専門家が「BWR」と略称する苛酷事故に至り、漏れ出した放射能の雲によって東京を含む人口密集地帯が被曝し、甚だしい場合日本人口の一七％に当たる二千万余の人が死亡するというものだ。